



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社チェンジ 上場取引所 東
 コード番号 3962 URL <http://www.change-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 福留 大士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 山田 裕 TEL 03-6435-7340
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年9月期第1四半期 | 392 | △15.6 | 25 | △29.9 | 25 | △20.0 | 16 | △19.4 |
| 29年9月期第1四半期 | 465 | — | 36 | — | 31 | — | 21 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年9月期第1四半期 | 5.12 | 4.70 |
| 29年9月期第1四半期 | 6.62 | 5.85 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年9月期第1四半期 | 1,347 | 1,120 | 82.9 | 333.74 |
| 29年9月期 | 1,429 | 1,088 | 75.9 | 334.96 |

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 1,117百万円 29年9月期 1,085百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | — |
| 30年9月期 | — | — | — | — | — |
| 30年9月期（予想） | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|------|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,190 | 10.6 | 360 | 8.9 | 359 | 10.2 | 242 | 5.3 | 74.70 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年9月期1Q | 3,358,000株 | 29年9月期 | 3,240,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年9月期1Q | 一株 | 29年9月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年9月期1Q | 3,319,985株 | 29年9月期1Q | 3,187,714株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第1四半期累計期間 | 4 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 5 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 5 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 5 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 5 |
| (セグメント情報等) | 5 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く市場環境については、政府がロボット、IoT (Internet of Things : モノのインターネット) 、AI (Artificial Intelligence:人工知能) 、ビッグデータなどの第4次産業革命のイノベーションを活用し、Society5.0の実現に向けて、成長戦略を強力に推し進めております。成長戦略の柱である新しいテクノロジーを核とした「生産性革命」と「人づくり革命」を実現する各種政策の実行が進み、個別企業の動向をみても、このような新しいIT、人材育成・採用への企業の投資が活発になっております。実際、各種市場調査のデータによると、AI、AI音声アシスタント、ロボティクス、IoT、ビッグデータ、クラウド、情報セキュリティ、モバイル/スマートデバイスなど、主な領域で軒並み2ケタの市場成長率を誇り、ポテンシャルの高さがうかがえます。

このような状況の中で当社は、「Change People、Change Business、Change Japan」をコーポレートミッションに、AI、音声インターネット、モビリティ、IoT、ビッグデータ、クラウド、セキュリティなどの各種アルゴリズム群のライブラリ及び基盤テクノロジーを活用したサービス、IT人材の育成研修を「NEW-ITトランスフォーメーション事業」として展開しております。日本企業の業務オペレーションやビジネスモデルに変革をもたらし、生産性と付加価値を向上させるべくビジネスを推進し、主に日本を代表する大企業や政府官公庁に対して継続的なサービス提供を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、AI・RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) による業務自動化プロジェクト、音声AIスピーカーの活用プロジェクト、VR (Virtual Reality : 仮想現実) を利用した地方創生プロジェクトなどの新たなサービスの提供・PoC (Proof of Concept : 概念実証) の成長投資を推し進め、AI人材・データサイエンティストなどの第4次産業革命人材の育成、大手企業や政府官公庁における働き方改革を支えるモバイルセキュリティプラットフォームの販売などの既存事業も順調に推移するとともに、NEW-ITのエコシステムを構築すべく他社との資本提携及び業務提携を進めました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は392,864千円 (前年同期比15.6%減) 、営業利益は25,335千円 (前年同期比29.9%減) 、経常利益は25,216千円 (前年同期比20.0%減) 、四半期純利益は16,999千円 (前年同期比19.4%減) となりました。

なお、当社はNEW-ITトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は1,007,771千円となり、前事業年度末と比較して230,953千円減少しました。これは主に、現金及び預金が223,012千円減少したことによるものです。また固定資産は339,688千円となり、前事業年度末と比較して148,738千円増加しました。

以上の結果、総資産は1,347,460千円となり、前事業年度末と比較して82,215千円減少しました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は176,428千円となり、前事業年度末と比較して105,735千円減少しました。これは主に、未払法人税が65,238千円減少したことによるものです。また、固定負債は50,347千円となり、前事業年度末と比較して8,405千円減少しました。

以上の結果、負債合計は226,776千円となり、前事業年度末と比較して114,140千円減少しました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,120,684千円となり、前事業年度末と比較して31,925千円増加しました。これは主に四半期純利益計上により利益剰余金が16,999千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年9月30日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 978,299 | 755,286 |
| 売掛金 | 230,665 | 207,586 |
| たな卸資産 | 9,149 | 23,066 |
| その他 | 20,610 | 21,831 |
| 流動資産合計 | 1,238,724 | 1,007,771 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 49,025 | 49,967 |
| 無形固定資産 | 45,435 | 42,210 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 45,300 | 196,300 |
| その他 | 51,190 | 51,211 |
| 投資その他の資産合計 | 96,490 | 247,511 |
| 固定資産合計 | 190,950 | 339,688 |
| 資産合計 | 1,429,675 | 1,347,460 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 52,513 | 32,627 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 38,928 | 34,390 |
| 未払法人税等 | 76,854 | 11,616 |
| その他 | 113,867 | 97,795 |
| 流動負債合計 | 282,163 | 176,428 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 39,020 | 30,796 |
| 資産除去債務 | 18,142 | 18,160 |
| その他 | 1,590 | 1,390 |
| 固定負債合計 | 58,753 | 50,347 |
| 負債合計 | 340,917 | 226,776 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 225,743 | 233,206 |
| 資本剰余金 | 186,243 | 193,706 |
| 利益剰余金 | 673,308 | 690,307 |
| 株主資本合計 | 1,085,295 | 1,117,220 |
| 新株予約権 | 3,463 | 3,463 |
| 純資産合計 | 1,088,758 | 1,120,684 |
| 負債純資産合計 | 1,429,675 | 1,347,460 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 465,593 | 392,864 |
| 売上原価 | 323,683 | 252,649 |
| 売上総利益 | 141,909 | 140,215 |
| 販売費及び一般管理費 | 105,773 | 114,879 |
| 営業利益 | 36,136 | 25,335 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取手数料 | 5 | 6 |
| 営業外収益合計 | 6 | 7 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 148 | 98 |
| 為替差損 | 4,489 | 28 |
| 営業外費用合計 | 4,638 | 126 |
| 経常利益 | 31,504 | 25,216 |
| 税引前四半期純利益 | 31,504 | 25,216 |
| 法人税等 | 10,416 | 8,217 |
| 四半期純利益 | 21,088 | 16,999 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はNEW-ITトランスフォーメーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。